



## 2024年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月9日

上場会社名 タビオ 株式会社  
コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 関 淑東

TEL 06-6632-1200

定時株主総会開催予定日 2024年5月23日

配当支払開始予定日

2024年5月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年5月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期の連結業績(2023年3月1日~2024年2月29日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	16,220	6.3	598	17.9	621	17.4	469	102.0
2023年2月期	15,264	11.6	507	321.0	529	162.5	232	26.3

(注) 包括利益 2024年2月期 650百万円 (161.6%) 2023年2月期 248百万円 (19.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	69.06		11.1	8.1	3.7
2023年2月期	34.17		5.8	6.8	3.3

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 百万円 2023年2月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	7,680	4,471	58.2	658.01
2023年2月期	7,733	4,019	52.0	591.92

(参考) 自己資本 2024年2月期 4,471百万円 2023年2月期 4,019百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	356	865	560	1,538
2023年2月期	610	267	579	2,601

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年2月期		0.00		30.00	30.00	203	87.8	5.1
2024年2月期		0.00		30.00	30.00	203	43.4	4.8
2025年2月期(予想)		0.00		30.00	30.00			

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,561	2.1	684	14.3	689	10.9	510	8.7	75.04

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期	6,813,880 株	2023年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2024年2月期	17,731 株	2023年2月期	23,933 株
期中平均株式数	2024年2月期	6,796,825 株	2023年2月期	6,800,886 株

(参考)個別業績の概要

2024年2月期の個別業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	15,940	5.8	507	17.2	568	13.1	417	103.5
2023年2月期	15,072	11.4	433	206.5	502	84.8	205	17.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期	61.50	
2023年2月期	30.20	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年2月期	6,828		3,638		53.3		535.36	
2023年2月期	6,818		3,421		50.2		503.98	

(参考) 自己資本 2024年2月期 3,638百万円 2023年2月期 3,421百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「(5)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
(5) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、行動制限や入国規制が解除され、経済活動の正常化が進みました。一方、長期化する地政学リスクや原材料及びエネルギー価格の高騰、為替相場の急激な変動など、今後の先行きは不透明な状況が続いております。

国内の衣料品販売市場では、賃上げによる所得環境の改善や外出機運の高まりによる人流の増加に加え、円安によるインバウンド需要の拡大などにより堅調に推移しました。

このような状況の中で当グループは、『Tabio MEN』の公式アンバサダーに俳優・窪塚洋介氏を、『Tabio』『靴下屋』の公式アンバサダーにアーティスト・木村カエラ氏を起用しました。インスタグラムなどSNSにおける反響も大きく、各ブランドの認知度向上及び新規顧客層の獲得を目指して取り組んでおります。

#### (国内専門店事業)

国内専門店事業におきましては、多くの企業やブランドとのコラボ商品の展開や出店立地環境に最適なローカライズ商品の開発など、コラボブランドや地域の特色を生かした話題性のある商品提案を推進することで、一人一人のお客様の購買意欲を高める施策を実施いたしました。

また生産年齢人口の減少に伴う人手不足の将来に備え、店舗業務の効率化を目的に自動釣銭機を導入しました。その結果、お客様への接客時間を確保することができ、インバウンド需要の増加にも人員増強することなく対応することができました。海外のお客様に対してもスマホ接客や翻訳機を活用したスムーズな接客を通じて販売提案力の強化に取り組んでおります。

以上の結果、「国内専門店事業」の売上高は127億3百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

#### (国内EC事業)

国内EC事業におきましては、国内EC部門を部署間横断チームとする社内体制の変更を行い、EC・店舗共通の販促企画の立案やWEB・SNSでの発信力強化を行いました。その結果、お客様の反応やニーズをタイムリーに把握することができ、ECサイトのトップページに話題の商品を掲載することでお客様の購入促進につなげております。

またインバウンドでお買い求めいただいたお客様が帰国後も継続して商品の購入ができるよう越境ECにも注力し、「国内専門店事業」⇔「国内EC事業」⇔「海外事業」のシームレスな販売展開をサポートしております。

以上の結果、「国内EC事業」の売上高は18億89百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

#### (海外・スポーツ卸事業)

海外事業におきましては、中国におけるゼロコロナ政策の解除後、新規出店を再開するとともに、香港及び韓国にそれぞれ一号店を出店しました。今後もアジア市場を重要な成長市場と見据え、展開エリアの拡大を図って参ります。また生産面では、前期に設立した中国子会社『踏比鷗商貿(上海)有限公司』が稼働し、現地の需要に対応できる最適な生産体制の構築に尽力しました。

スポーツ卸事業では、コロナ後のマラソン大会需要が回復したことによりランニングソックスが今期の売上成長に貢献しました。また、トップ選手から学生まで幅広い購買層を獲得したフットボールソックスは、安定した売上成長を維持し、業績に貢献しております。

以上の結果、「海外・スポーツ卸事業」の売上高は16億28百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店8店舗直営店5店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店5店舗直営店10店舗の退店により、当連結会計年度末における店舗数は、フランチャイズチェーン店117店舗（海外代理商による30店舗を含む）、直営店154店舗（海外4店舗を含む）、合計271店舗となりました。

利益面におきましては、固定資産の減損会計の適用を行った結果、減損損失82百万円を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は16,220百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益598百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益621百万円（前年同期比17.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益469百万円（前年同期比102.0%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は、土地419百万円、投資有価証券411百万円、商品201百万円の増加がありましたが、現金及び預金1,063百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて53百万円減少し、7,680百万円となりました。

負債については、賞与引当金118百万円の増加がありましたが、退職給付に係る負債252百万円、長期借入金222百万円、電子記録債務145百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて506百万円減少し、3,208百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて452百万円増加し、4,471百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.0%から58.2%に増加しました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,063百万円減少し、当連結会計年度末には、1,538百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少270百万円、棚卸資産の増加200百万円があったものの、税金等調整前当期純利益529百万円、減価償却費246百万円の計上があったこと等により、356百万円（前年同期比253百万円の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出416百万円、有形固定資産の取得による支出357百万円があったこと等により、△865百万円（前年同期比598百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出219百万円、配当金の支払額203百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出132百万円があったこと等により、△560百万円（前年同期比18百万円の増加）となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期
自己資本比率 (%)	64.8	51.4	51.5	52.0	58.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	77.7	92.6	89.4	97.5	106.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.2	—	1.3	1.5	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	119.3	—	173.8	135.8	70.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後の期末発行済株式数により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注5) 2021年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、「営業活動によるキャッシュ・フロー」がマイナスであるため記載しておりません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、安定した配当を継続的に実施することを基本に、当該期及び今後の業績・財政状態や今後の事業展開等を総合的に勘案して、決定する方針を採っております。

「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 ①当連結会計年度の経営成績」の記載にもある通り、当連結会計年度の経営成績は増収増益となりましたが、当期の剰余金の配当につきましては、上記の基本方針を踏まえ、前期と同額の1株につき30円(年間)を予定しております。

また、内部留保資金につきましては、今後の事業展開に向けた財務体質の強化を図りつつ、強固な事業基盤の構築に向けた戦略的投資を行い、当グループの競争力を向上させることによって、収益力と1株当たり当期純利益額の確保に繋げていく所存です。

なお、次期の剰余金の配当につきましては、上記の基本方針と今後の業績見通しを勘案し、1株につき30円(年間)を予定しております。

(5) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的なブランディング向上施策を実施し、新しいお客様への認知度を高め、潜在顧客の発掘と既存顧客のロイヤリティ向上に取り組んで参ります。

具体的には、1984年に誕生した『靴下屋』が40周年を迎える2024年、アニバーサリーイヤーとしてこの1年間各種プロモーション活動を通じて、今までの感謝と新しい『靴下屋』をお客様にお伝えして参ります。

また、スポーツ界における世界トップクラブチームである「FC Barcelona」とのライセンス契約により、フットボールソックスをはじめとした機能性スポーツソックスの圧倒的な地位の確立と世界的なブランディングで、更なる高みを目指して参ります。

さらに、資本業務提携契約を締結した株式会社ナイガイとの共同プロジェクトを通じて、当社創業者の想いである『国内靴下業界全体の発展』の実現に向け邁進して参ります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,601,731	1,538,422
受取手形	13,329	7,843
売掛金	692,669	716,090
商品	663,026	864,695
貯蔵品	432	654
その他	127,061	188,652
貸倒引当金	△3,064	△1,274
流動資産合計	4,095,188	3,315,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,939,385	1,907,806
減価償却累計額	△1,379,285	△1,362,117
建物及び構築物（純額）	560,100	545,688
機械装置及び運搬具	55,967	55,967
減価償却累計額	△54,609	△55,121
機械装置及び運搬具（純額）	1,357	845
土地	1,182,654	1,601,791
リース資産	523,345	630,410
減価償却累計額	△405,601	△451,969
リース資産（純額）	117,743	178,440
建設仮勘定	157,177	12,208
その他	513,655	503,977
減価償却累計額	△463,451	△434,076
その他（純額）	50,204	69,901
有形固定資産合計	2,069,238	2,408,876
無形固定資産		
ソフトウェア	269,042	257,983
ソフトウェア仮勘定	11,735	5,364
その他	58,454	64,182
無形固定資産合計	339,233	327,529
投資その他の資産		
投資有価証券	-	411,085
差入保証金	1,062,118	1,036,879
繰延税金資産	115,372	126,988
その他	52,832	53,803
投資その他の資産合計	1,230,322	1,628,756
固定資産合計	3,638,794	4,365,162
資産合計	7,733,982	7,680,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	533,532	409,196
電子記録債務	623,442	477,829
1年内返済予定の長期借入金	222,757	223,169
リース債務	97,566	113,118
未払費用	285,649	309,697
未払法人税等	73,235	130,948
賞与引当金	136,103	254,836
契約負債	42,410	43,651
資産除去債務	-	4,074
その他	358,396	330,520
流動負債合計	2,373,095	2,297,042
固定負債		
長期借入金	340,221	118,066
リース債務	237,171	264,943
退職給付に係る負債	325,800	73,589
資産除去債務	316,278	307,914
その他	122,276	146,723
固定負債合計	1,341,748	911,237
負債合計	3,714,844	3,208,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,525
利益剰余金	3,515,914	3,781,572
自己株式	△24,805	△18,820
株主資本合計	3,998,323	4,270,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△4,009
為替換算調整勘定	△6,768	△4,603
退職給付に係る調整累計額	27,582	210,513
その他の包括利益累計額合計	20,814	201,900
純資産合計	4,019,137	4,471,966
負債純資産合計	7,733,982	7,680,247

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	15,264,221	16,220,763
売上原価	6,631,681	7,047,931
売上総利益	8,632,539	9,172,831
販売費及び一般管理費	8,125,157	8,574,639
営業利益	507,382	598,192
営業外収益		
受取利息	19	208
受取配当金	-	3,090
仕入割引	11,132	10,685
固定資産賃貸料	1,626	1,799
為替差益	3,559	5,280
受取補償金	316	1,656
その他	10,657	6,706
営業外収益合計	27,310	29,427
営業外費用		
支払利息	4,477	5,036
その他	677	1,062
営業外費用合計	5,154	6,098
経常利益	529,538	621,521
特別損失		
固定資産除売却損	7,419	5,522
賃貸借契約解約損	3,578	3,907
役員特別功労金	79,900	-
社葬費用	21,888	-
減損損失	134,668	82,263
特別損失合計	247,454	91,692
税金等調整前当期純利益	282,083	529,828
法人税、住民税及び事業税	59,278	131,347
法人税等調整額	△9,573	△70,874
法人税等合計	49,704	60,472
当期純利益	232,379	469,356
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	232,379	469,356

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
当期純利益	232,379	469,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△4,009
為替換算調整勘定	△1,333	2,164
退職給付に係る調整額	17,625	182,930
その他の包括利益合計	16,292	181,085
包括利益	248,672	650,442
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	248,672	650,442
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	414,789	92,424	3,487,731	△9,313	3,985,631
当期変動額					
剰余金の配当			△204,130		△204,130
親会社株主に帰属する当期純利益			232,379		232,379
自己株式の取得				△26,854	△26,854
自己株式の処分		△66		11,362	11,296
自己株式処分差益		-			-
自己株式処分差損の振替		66	△66		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	28,183	△15,491	12,691
当期末残高	414,789	92,424	3,515,914	△24,805	3,998,323

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	-	△5,434	9,957	4,522	3,990,153
当期変動額					
剰余金の配当				-	△204,130
親会社株主に帰属する当期純利益				-	232,379
自己株式の取得				-	△26,854
自己株式の処分				-	11,296
自己株式処分差益				-	-
自己株式処分差損の振替				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	△1,333	17,625	16,292	16,292
当期変動額合計	-	△1,333	17,625	16,292	28,984
当期末残高	-	△6,768	27,582	20,814	4,019,137

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	414,789	92,424	3,515,914	△24,805	3,998,323
当期変動額					
剰余金の配当			△203,698		△203,698
親会社株主に帰属する当期純利益			469,356		469,356
自己株式の取得				△5,212	△5,212
自己株式の処分				11,196	11,196
自己株式処分差益		100			100
自己株式処分差損の振替					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	100	265,657	5,984	271,743
当期末残高	414,789	92,525	3,781,572	△18,820	4,270,066

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	-	△6,768	27,582	20,814	4,019,137
当期変動額					
剰余金の配当				-	△203,698
親会社株主に帰属する当期純利益				-	469,356
自己株式の取得				-	△5,212
自己株式の処分				-	11,196
自己株式処分差益				-	100
自己株式処分差損の振替				-	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,009	2,164	182,930	181,085	181,085
当期変動額合計	△4,009	2,164	182,930	181,085	452,829
当期末残高	△4,009	△4,603	210,513	201,900	4,471,966

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	282,083	529,828
減価償却費	248,091	246,882
減損損失	134,668	82,263
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,735	△1,790
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,202	118,732
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△31,475	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,462	11,301
役員特別功労金	79,900	-
受取利息及び受取配当金	△19	△3,299
支払利息	4,477	5,036
固定資産除売却損益 (△は益)	7,419	5,522
売上債権の増減額 (△は増加)	△118,895	△17,790
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△41,054	△200,578
仕入債務の増減額 (△は減少)	82,113	△270,972
契約負債の増減額 (△は減少)	42,259	656
その他の資産の増減額 (△は増加)	11,328	△48,422
その他の負債の増減額 (△は減少)	38,444	43,996
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,263	△71,731
小計	746,480	429,636
利息及び配当金の受取額	19	3,299
利息の支払額	△4,493	△5,041
役員特別功労金の支払額	△79,900	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△51,979	△71,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	610,126	356,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△120,693	△357,197
有形固定資産の除却による支出	△42,481	△21,507
有形固定資産の売却による収入	5,015	4,386
無形固定資産の取得による支出	△108,181	△91,602
投資有価証券の取得による支出	-	△416,860
その他の支出	△63,255	△27,215
その他の収入	62,288	44,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,308	△865,587
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△220,702	△219,244
自己株式の取得による支出	△26,854	△5,212
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△127,304	△132,677
配当金の支払額	△204,301	△203,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,162	△560,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,081	6,636
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△233,262	△1,063,309
現金及び現金同等物の期首残高	2,834,994	2,601,731
現金及び現金同等物の期末残高	2,601,731	1,538,422

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当グループが、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

当グループが、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦の所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

1 製品及びサービスごとの情報

当グループが、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦の所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。



(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当グループが、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

当グループが、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり純資産額	591.92円	658.01円
1株当たり当期純利益	34.17円	69.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	232,379	469,356
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	232,379	469,356
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,800	6,796

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	4,019,137	4,471,966
普通株式に係る純資産額(千円)	4,019,137	4,471,966
普通株式の発行済株式数(千株)	6,813	6,813
普通株式の自己株式数(千株)	23	17
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普 通株式の数(千株)	6,789	6,796

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。